

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。  
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生 ⑩実施手段									
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	28,478,099	28,496,105				
決算	28,672,273					
人件費(A)	63,000	71,400				
報酬(B)	2,521					
年間経費(予算又は決算+A+B)	28,737,794	28,567,505				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
企業債残高(億円)	億円	目標	1,561	1506	1450	1392	1335	1,277
		実績	1,510					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。  
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・良好な環境の創造に向けて、下水道・農業集落排水・合併処理浄化増を効果的に整備する総合的な汚水処理を推進するなど、計画的な投資を実施することにより、企業債残高の抑制が図られた。
- ・効率的な維持管理を実施するため平成30年度より西遠処理区に導入した運営委託方式による事業の監視(モニタリング)を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	15,948,760	15,877,360	9.0				3.0
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	12,618,745	12,618,745					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						28,567,505	28,496,105	9.0				3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

### ◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。また、平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、民間活力を最大限に活用した効率的な管理・運営を実現する。

### ◇事業の概要

○下水道事業に係る経営管理  
 ・持続可能かつ健全な経営の推進  
 ○下水道事業に係る組織・人事管理  
 ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化  
 ○災害対策事業  
 ・部内及び他都市連携による防災訓練の実施  
 ○下水道の普及啓発事業  
 ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

平成27年度末に静岡県から移管された西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者へ運営を委ねている。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	15,908,903	15,877,360				
	決算	16,105,972					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	11,089,817	10,811,260				
一般会計繰入金	5,016,155	5,066,100					
人件費(報酬等) (千円)		2,521					
人件費 (千円)		63,000	71,400				
人工	正規	9.0	9.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		3.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・適切かつ平等な下水施設・衛生へのアクセス  
 ・効果的な官民のパートナーシップ

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
企業債残高(億円)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1615	1561	1506	1450	1392	1335	1277
実績値	1566	1510					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
職員定数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	103	103	102	102	102	102	102
実績値	101	101					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
防災訓練(研修)の実施回数(回)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1	1	1	1	1	1	1
実績値	1	1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
西遠コンセッション事業の導入							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	コンセッション開始	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施	コンセッション実施
実績値	コンセッション開始	コンセッション実施					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○下水道事業に係る経営管理  
 ・持続可能かつ健全な経営の推進  
 ○下水道事業に係る組織・人事管理  
 ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化  
 ○災害対策事業  
 ・業務継続計画(BCP)に基づいた職員対応能力向上研修の実施  
 ○下水道の普及啓発事業  
 ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発  
  
**【重点戦略項目No.100、133】**  
 平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者へ運営を委ねる。

・事業の成果と課題

**指標の達成度**  

  
 ・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対しては51億円減の1,510億円となり、償還計画に基づく経営健全化が図られた。  
 ・職員定数については、103人の目標に対して101人の実績となり、計画通り適正化が図られた。  
 ・昨年度策定した業務継続計画に基づき、被災時における職員の災害対応能力の向上を目的とした研修を実施した。  
 ・平成30年4月から事業を開始した西遠運営委託事業については、民間事業者の運営について監視(モニタリング)を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・持続可能な下水道経営の推進による、良好な環境の創造や安全で強靱な下水道機能の確保に向け、効率的な建設事業の推進などによる企業債残高の削減を図るほか、平成30年度より西遠運営委託事業を開始した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・良好な環境の創造や安全で強靱な下水道機能の確保に向け、引き続き効率的な建設事業の推進などによる企業債残高の削減を図るなど、持続可能な下水道経営を推進する。

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

### ◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

### ◇事業の概要

#### ○企業債償還金

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	12,569,196	12,618,745				
	決算	12,566,301					
	国・県支出						
	市債	3,269,700	3,138,500				
	その他						
	一般財源	8,306,169	8,503,367				
	一般会計繰入金	990,432	976,878				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
企業債残高(億円)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1615	1561	1506	1450	1392	1335	1277
実績値	1566	1510					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対しては51億円減の1,510億円となり、償還計画に基づく経営健全化が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

・平成27年度より、公営企業債について、財政融資の償還年限が延長されたことから、後年度の公債費抑制につながる金利低減を含めた財政運営の健全化に向け、様々な発行条件について検討を実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・引き続き、後年度の公債費抑制につながる金利低減を含めた財政運営の健全化に向け、様々な発行条件について検討を行う。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。  
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

### ◇関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	6,006,698	6,042,978				
決算	6,006,587					
人件費(A)						
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,006,587	6,042,978				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。  
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	下水道会計事業出資金					976,878	976,878					
2	下水道会計事業負担金					5,066,100	5,066,100					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						6,042,978	6,042,978					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 下水道会計事業出資金

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	990,433	976,878				
	決算	990,432					
	国・県支出						
	市債						
	その他	818,000	899,925				
	一般財源	172,432	76,953				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

# 事業シート (事業名) 下水道会計事業負担金

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,016,265	5,066,100				
	決算	5,016,155					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,748,000	2,825,000				
	一般財源	2,268,155	2,241,100				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。  
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。  
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行うほか、下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収を行う。

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	261,380	259,475				
決算	239,565					
人件費(A)	62,400	61,600				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	301,965	321,075				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
汚水衛生処理率	%	目標	90.5	91.6	92.3	93	93.5	94.0
		実績	87.1					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。  
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。  
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行うほか、下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収を行う。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
政策の指標である汚水衛生処理率は目標に届かなかったが、下水道接続率は、職員による訪問勧奨等の取り組みにより目標の96.2%を達成した。汚水衛生処理率が目標に届かなかった原因は合併処理浄化槽の普及促進の遅れによるものであるため、今後も引き続き効果の高い訪問勧奨を継続していく。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	260,893	209,093	7.0			1.0
2	浜松市下水道事業(資本的支出)					60,182	50,382	1.0			1.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						321,075	259,475	8.0			2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

### ◇事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため下水道接続率の向上を図るとともに、適正な宅内排水設備施工のため指定工事人に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導を行う。

### ◇事業の概要

- 水洗化促進事業
  - ・職員による訪問勧奨の実施
- 宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業
  - ・指定工事人を対象とした技術講習会の実施
- 宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務
  - ・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施
- 使用料収入の安定確保
  - ・使用料収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図ることで収入の安定確保を目指す

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	210,424	209,093				
	決算	199,272					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	199,272	209,093				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		52,600	51,800				
人工	正規	7.0	7.0				
	再任用(h31)	1.0					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		1.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2,6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・公共用水域の水質及び生活環境を保全するため下水道接続率の向上が必要となる

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水道水洗化(接続)率 (%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	96.0	96.2	96.4	96.6	96.8	96.9	97.0
実績値	96.0	96.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 水洗化促進事業
  - ・職員による訪問勧奨の実施
- 宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業
  - ・指定工事人を対象とした技術講習会の実施
- 宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務
  - ・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

職員による訪問勧奨を市全体で約1,000戸実施した。また、排水設備指定工事人を対象とした技術講習会を開催する等、適正な宅内排水設備の施工及び下水道使用に関する技術的指導を行なった。これらの取り組みにより、水洗化率は対前年比で0.2ポイント向上し目標とした96.2%を達成。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・新規供用開始区域等、成果に結びつく可能性が高い家屋を対象に訪問勧奨を実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・引き続き職員による戸別訪問を実施し下水道事業の役割の啓発に力点を置いた丁寧な接続勧奨を実施する。
- ・また、効果的な訪問勧奨の方法について研究する。

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

### ◇事業目的・事業対象

下水道の整備にかかる建設費を受益者負担金として徴収を行う。

### ◇事業の概要

- ・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収
- ・受益者負担金徴収業務については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図ることで収入の安定確保を目指す
- ・固定資産(下水道メーター)の新規購入及び検定切れ・故障による取替工事

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法 等	—	—	—

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	50,956	50,382				
	決算	40,293					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	40,293	50,382				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		9,800	9,800				
人工	正規	1.0	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2、6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・下水道の整備にかかる建設費を受益者負担金として徴収を行うこととし、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

下水道受益者負担金については、下水道事業の役割の啓発に努めるとともに、収納率を維持するため、滞納者に対する督促、催告等を実施している

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も現在の取組みを継続していく。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浄化槽普及費

## (総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

### ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

#### ◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。  
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。  
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

#### ◇関連するSDGsのゴール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	481,635	523,664				
決算	474,393					
人件費(A)	42,600	42,600				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	516,993	566,264				

#### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
汚水衛生処理率	%	目標	90.5	91.6	92.3	93.0	93.5	94.0
		実績	87.1					
		目標						
		実績						

#### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。  
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。  
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

#### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
政策の指標である汚水衛生処理率が目標に届かなかった原因は、合併処理浄化槽の普及促進の遅れによるものであるため、今後も引き続き効果の高い訪問勧奨を継続していく。ただし、下水道接続率は、職員による戸別訪問勧奨投の取り組みにより目標の96.2%を達成した。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浄化槽維持管理事業					12,595	2,795	1.4				
2	合併処理浄化槽普及啓発事業					27,800	600	0.8	6.0			
3	浄化槽助成事業			○		525,869	520,269	0.8				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						566,264	523,664	3.0	6.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 浄化槽維持管理事業

### ◇事業目的・事業対象

浄化槽が本来の機能を発揮し、汚水処理システムの役割を果たすためには、浄化槽法に基づいた適正な維持管理が不可欠であるため、浄化槽関連業に関する事務を適正に執行するとともに、維持管理状況等を把握するための管理台帳を整備する。

### ◇事業の概要

- 浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施  
浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施する。  
浄化槽保守点検登録業者講習会を開催し、事業者の知識向上を図る。
- 浄化槽管理台帳システム整備業務の実施  
平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施する。  
届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努める。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S60	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,269	2,795				
	決算	3,235					
	国・県支出						
	市債						
	その他	394	544				
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	2,841	2,251				
	一般会計繰入金						
人件費(千円)		9,800	9,800				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2、6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・公共用水域の水質及び生活環境を保全するためには、浄化槽の維持管理が必要であるため。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
保守点検契約率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値	91.1	90.6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施  
 浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施する。  
 浄化槽保守点検登録業者講習会を開催し、事業者の知識向上を図る。

○浄化槽管理台帳システム整備業務の実施  
 平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施する。  
 届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

保守点検契約率は目標に届かなかったが、前年度と比較して0.5%程度の減にとどまっている。  
 なお、未契約の浄化槽が判明した場合には、浄化槽管理者(市民)へ維持管理を啓発するほか、関係業者への指導も行っており、適正な浄化槽の維持管理につながっている。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務は、適正な維持管理を担保するうえで不可欠であるため、保守点検業者講習会を行い、事業者の知識・技術の向上を図った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

保守点検業者講習会の内容を適宜見直すことで、事業者の知識・技術の積み上げを図っていく。  
浄化槽法の改正により、浄化槽管理士に対する研修の機会の確保に関する事項が追加されたため、県及び静岡市と連携して研修を実施していく。

## 事業シート (事業名) 合併処理浄化槽普及啓発事業

### ◇事業目的・事業対象

浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及には市民の理解、協力が不可欠であることから、市民の汚水処理に対する関心を高めるため、戸別訪問などの普及啓発事業を展開する。

### ◇事業の概要

- 戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導  
下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発する。  
浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施する。
- 普及啓発事業の開催  
生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催する。
- 保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発  
浄化槽パトロールなどを関連業者と連携して実施することで効果的な維持管理の啓発を行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	-

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	601	600				
	決算	514					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	514	600				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		27,200	27,200				
人工	正規	0.8	0.8				
	再任用(h31)	6.0	6.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2、6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・公共用水域の水質及び生活環境の保全を推進するため、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進する必要がある。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
戸別訪問件数(件)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7500	7500	7500	7500	2500	2500	2500
実績値	7994	8600					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導  
 下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発する。  
 浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施する。  
 ○普及啓発事業の開催  
 生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催する。  
 ○保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発  
 浄化槽パトロールなどを関連業者と連携して実施することで効果的な維持管理の啓発を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
 計画通り  
 戸別訪問件数は8,600件と、目標件数を上回り、年度内の計画どおり達成した。  
 対象地区にあたっては、令和元年度中に全ての浄化槽世帯への訪問が完了し、効果的な合併処理浄化槽の設置替促進を行った。  
 現時点で対象となる浄化槽が約28,400基あり、浄化槽管理者への戸別訪問を継続実施するが、全戸訪問には相当の期間が必要となることから、並行して郵送や地域のイベントなどを活用した周知啓発をした。  
 また、浄化槽関係業者と協力して、浄化槽パトロールを実施し、浄化槽の維持管理に関して効果的な啓発を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への設置替えには法的義務がないことから(努力義務)、合併処理浄化槽の普及を促進するには、市民の主体的な行動を促す必要があるため、市民への周知・啓発を強化した。  
・戸別訪問職員を増員して訪問体制を3班6名とし、周知・啓発促進を強化した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

戸別訪問職員の体制強化による合併処理浄化槽の設置替えの効果があったと判断しており、3班体制の取り組みを継続して浄化槽管理台帳の情報を活用した啓発の対象を選定するなど、効率的かつ効果的な啓発を実施していく。

## 事業シート (事業名) 浄化槽助成事業

### ◇事業目的・事業対象

汚水処理の早期概成のためには、下水道事業計画区域外の合併処理浄化槽の普及促進が不可欠である。しかしながら、浄化槽設置費用の負担が合併処理浄化槽の普及が進まない主な要因となっている。このため、浄化槽設置者に対して補助金を交付することによって、市民の負担を軽減し、合併処理浄化槽の普及を促進させる。

### ◇事業の概要

#### ○浄化槽設置整備事業

下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさごとに定められた補助金を交付する。  
 水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	477,765	520,269				
	決算	470,644					
	国・県支出	84,636	101,683				
	市債	362,000	386,800				
	その他	5,700	26,800				
	一般財源 一般会計繰入金	18,308	4,601				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		5,600	5,600				
人工	正規	0.8	0.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2、6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

・公共用水域の水質及び生活環境を保全するため、生活を拠点とした建物に設置されている単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換に係る設置費用の一部について補助金を交付することにより、適正な汚水処理を推進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
合併処理浄化槽設置基数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	25,000	26,300	27,600	28,900	30,200	31,500	32,800
実績値	23,068	24,163					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

○浄化槽設置整備事業

下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさごとに定められた補助金を交付する。  
 水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

合併処理浄化槽設置基数は目標値の26,300基に届かなかったが、設置基数は前年比で1,095基の増となっていることから、着実に合併処理浄化槽の普及が進んでいる。

また、平成27年10月より、補助制度を改正し、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽へ設置替えする市民に対する補助限度額を増額したことにより、設置替えに対する補助基数が474基と、前年比では87基の増となっており、制度改正における一定の効果が得られた。

経済的理由により切替工事が困難な市民への対応が課題である。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

戸別訪問職員による訪問の強化により、設置替えの補助金申請件数が増となり、予算不足が生じたため、補正予算により事業費を増額して対応した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・国庫交付金の新メニューである宅内配管費補助を活用し、また、浄化槽法改正の趣旨に基づき、単独処理浄化槽及び汲み取り便槽から合併処理浄化槽への設置替えに重点を置いた助成制度とするなど、最大限の効果を図るための見直しをして制度を継続する。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

- ・ 快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・ 現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・ 下水道管きよの適正な維持管理

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	6,591,396	7,157,748				
決算	6,107,766					
人件費(A)	299,600	306,600				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,407,366	7,464,348				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
基幹管路の耐震化適合率	%	目標	88.7	99	99.1	99.2	99.3	99.4
		実績	98.9					
下水道人口普及率	%	目標	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82
		実績	81.1					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・ 現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・ 下水道管きよの適正な維持管理

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

#### <進捗> 計画通り

下水道の整備では、下水道人口普及率が目標81.2%に対し実績81.1%であった。また、現状施設の耐震化、改築・更新事業を実施し、基幹管路の耐震化適合率は目標88.7%に対し耐震診断において既存管路の強度が確認出来たので、耐震化適合率が大幅に上がり実績98.9%であった。維持管理においては、浜松市下水道管路維持管理計画(管路調査編)に基づいた計画的な巡視及び点検・調査を実施した。今後については、中長期的な施設更新の事業平準化を目的としたストックマネジメントに基づき、効率的な改築更新を実施するとともに、交付金制度の積極的な活用を進めていきたい。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	749,011	714,011	5.0			
2	浜松市下水道事業(資本的支出)	○	○	○		6,715,337	6,443,737	38.0			2.0
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						7,464,348	7,157,748	43.0			2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

### ◇事業目的・事業対象

・下水道管きよの適正な維持管理

### ◇事業の概要

○管きよ維持管理事業  
 ・予防保全型の維持管理の実施  
 ・教育現場等への積極参加

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法 等	—	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	530,624	714,011				
	決算	506,948					
	国・県支出		20,820				
	市債						
	その他	154	66				
一般財源		506,794	693,125				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		35,000	35,000				
人工	正規	5.0	5.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.2,6.3	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

水環境改善のため、汚水処理施設の未普及地域において、下水道、集落排水、浄化槽等の汚水処理施設の適切な役割分担の下、効率的な汚水処理施設整備を実施する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 管きよ維持管理事業
- ・予防保全型の維持管理の実施
- ・教育現場等への積極参加

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松市下水道管路維持管理計画(管路調査編)に基づき、計画的な巡視及び点検・調査を実施した。
- ・小学校を対象とした下水道教室を市内97校のうち88校(90.7%)で開催した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

増大する下水道施設の維持管理において、全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析に努めていきたい。

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

### ◇事業目的・事業対象

- ・快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化

### ◇事業の概要

- 地震対策事業【R1-R4重点戦略項目No.172】
  - ・基幹管路や処理場、ポンプ場等の耐震化の推進
- 施設及び管きよ改築更新事業
  - ・処理場、ポンプ場、管きよのストックマネジメント計画に基づく改築・更新の実施
- 未普及対策事業(管きよ整備・施設整備・取付管設置)
  - ・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備の実施
- 浸水対策事業【R1-R4重点戦略項目No.173】
  - ・関連部署と連携した内水対策の推進(ハード対策)及び浸水被害軽減対策の推進(ソフト対策)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法等	○	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,060,772	6,443,737				
	決算	5,600,818					
	国・県支出	2,062,888	2,203,001				
	市債						
	その他	91,018	37,620				
	一般財源	3,446,912	4,203,116				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		264,600	271,600				
人工	正規	37.0	38.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2,6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

水環境改善のため、汚水処理施設の未普及地域において、下水道、集落排水、浄化槽等の汚水処理施設の適切な役割分担の下、効率的な汚水処理施設整備を実施する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
基幹管渠の耐震化適合率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	88.0	88.7	99.0	99.1	99.2	99.3	99.4
実績値	88.3	98.9					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水道人口普及率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	80.6	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82.0
実績値	80.9	81.1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
都市部における雨水調整池や排水ポンプ等整備率(%) (安間川・高塚川流域)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	79	85	92	100	100	100	100
実績値	72	86					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 地震対策事業【R1-R4重点戦略項目No.172】 [予算515,600千円(うち前年度繰越60,329千円)]
  - ・基幹管路や処理場、ポンプ場等の耐震化の推進
- 施設及び管きよ改築更新事業 [予算4,710,738千円(うち前年度繰越1,405,981千円)]
  - ・処理場、ポンプ場、管きよのストックマネジメント計画に基づく改築・更新の実施
- 未普及対策事業(管きよ整備・施設整備・取付管設置) [予算1,667,736千円(うち前年度繰越128,554千円)]
  - ・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備の実施
- 浸水対策事業【R1-R4重点戦略項目No.173】 [予算314,172千円(うち前年度繰越130,626千円)]
  - ・関連部署と連携した内水対策の推進(ハード対策)及び浸水被害軽減対策の推進(ソフト対策)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

下水道基幹管路の耐震化適合率については、下水道整備済区域内の防災拠点と下水処理場・ポンプ場とを結ぶ管きよの総延長に対して、診断及び対策により耐震性能が確保されている既存管きよの延長の割合であり98.9%、また、下水道人口普及率については、行政人口に対する下水道が利用できる人口の割合であり81.1%となった。下水道基幹管路の耐震化適合率については大幅に進捗しましたが、下水道人口普及率については、計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

浜松市下水道総合地震対策計画に基づく地震対策の推進及び浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備を実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

西遠処理区の施設運営におけるコンセッション(官民連携)事業、浜松市汚水処理10年プランに基づく下水道整備、ストックマネジメント対策、総合地震対策等により更なる事業の効率化を図るとともに、社会資本整備総合交付金制度の重点配分等の積極的活用など中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営する。また、適正な放流水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。  
・温室効果ガス排出量の削減。  
中部浄化センター・館山寺浄化センターのエネルギー消費原単位(電力)で、毎年1%以上、平成25年度を基準に令和2年度までに12%削減する。  
・下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入可能性を検討。  
・下水汚泥の100%再生利用の継続。

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,670,662	1,711,076				
決算	1,617,144					
人件費(A)	181,000	176,800				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,798,144	1,887,876				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
エネルギー消費原単位(電力)削減率 (対H25年度比)	%	目標	12(R2)	12	13	14	15	16
		実績	12.3					
下水処理場への流入水質異常件数	件	目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0					
下水汚泥の100%再生利用	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営する。また、適正な放流水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。  
・温室効果ガス排出量の削減:中部浄化センター・館山寺浄化センターのエネルギー消費原単位(電力)を毎年1%以上、平成25年度を基準に令和2年度までに12%削減する。  
・下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入可能性を検討。  
・下水汚泥の100%再生利用の継続。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・ポンプ場及び下水処理場を適正に管理運営し、事業場排水の監視を行い、流入水質異常は発生しなかった。  
・適切な維持管理の取組みや省エネ機器の導入によりエネルギー消費原単位(電力)を平成25年度比から、12.3%削減  
・研究会参加等情報収集すると共に、下水処理場における再生可能エネルギー利用技術の導入可能性を検討  
・下水汚泥の再生利用100%を継続中であるが農業利用等の下水汚泥の利活用についても取組みを進めている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	1,887,876	1,711,076	22.0	4.0		3.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,887,876	1,711,076	22.0	4.0		3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

### ◇事業目的・事業対象

下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営し、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。

### ◇事業の概要

- ・市内17箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬莱園、弁天島、西ヶ崎、金指、浜名、阿蔵)のポンプ場施設の維持管理事業
- ・浜松市地球温暖化対策実行計画書に記載されている、大規模施設である中部・館山寺浄化センターのエネルギー消費原単位(電力)を前年度比1%削減し、平成25年度を基準に令和2年度までに12%削減する。
- ・市内7箇所(西遠、中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場から排出される放流水の適正な水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。
- ・事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,670,662	1,711,076				
	決算	1,617,144					
	国・県支出	5,818	3,600				
	市債						
	その他						
	一般財源	1,611,326	1,707,476				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		181,000	176,800				
人工	正規	23.0	22.0				
	再任用(h31)	4.0	4.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	3.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2、6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

下水道処理施設を適切に維持管理して生活排水等を適切に浄化処理することにより、公共用水域の水質保全を図るだけでなく、水、資源、エネルギーの集約自立供給化による持続可能な循環型社会の構築に貢献する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
中部・館山寺浄化センターのエネルギー消費原単位(電力)削減率(対H25年度比:%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	12(R2)	12(R2)	12	13	14	15	16
実績値	10.6	12.3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水処理場への流入水質異常件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0	0	0	0	0	0
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水汚泥の100%再生利用(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市内17箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬莱園、弁天島、西ヶ崎、金指、浜名、阿蔵)のポンプ場施設の維持管理事業
- ・浜松市地球温暖化対策実行計画書に記載されている、大規模施設である中部・館山寺浄化センターのエネルギー消費原単位(電力)を前年度比1%削減し、平成25年度を基準に令和2年度までに12%削減する。
- ・市内7箇所(西遠、中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場から排出される放流水の適正な水質維持のため、下水処理場への流入水質が異常でないことを監視する。
- ・事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・包括的民間委託の導入により、民間の創意工夫によるエネルギー消費原単位(電力)削減の効果を得ることができた。
- ・地球温暖化対策として、大規模施設である中部・館山寺浄化センターにおけるポンプなどの主要設備更新に合わせて、省エネ機器の導入を図り、エネルギー消費原単位(電力)を平成25年度比で12.3%と削減できた。
- ・適切な水質維持に向けて、事業場排水に立入検査を行い、各下水処理場への流入水質に異常が発生することもなく、適正な放流水質を維持できた。
- ・下水汚泥の100%再生利用を推進し、農業利用等下水汚泥の利活用も実施した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  改善  小項目  改修・更新  /  委託・指定管理  事業費  拡大  人工  現状

・主ポンプ、送風機等の設備更新に合わせた省エネ機器の導入等により、エネルギー消費原単位(電力)の削減率が平成25年度比で12%削減の目標を達成しつつあるが、流入汚濁負荷量や降雨による流入下水量の増加の影響を受けエネルギー使用量増加リスクが存在する。また、老朽化した設備の突発故障停止による運転負荷の増加を防止するため、様々な維持管理情報を収集し予防保全的維持修繕と計画的な改築更新を推進し、既存設備の能力を十分発揮し安定した効率的な運転管理を進める環境を整備する必要がある。

今後の方向性

大項目  改善  小項目  業務改善  /  委託・指定管理  事業費  拡大  人工  現状

・合流式である中部浄化センターの公共的使命である汚水処理と処理地域内の浸水防除という2つの命題を、放流水質基準を遵守しつつ、降雨時対応の運転手順等を見直し、明確化したうえで、維持管理受託者と共有し、より最適な運転管理をする。

・施設の老朽化に対し計画的な予防保全的維持修繕の実施により突発故障停止リスクを軽減し、既存設備の能力を十分に発揮した安定した効率的な運転管理を行う。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

- ・ 公共下水道への接続促進
- ・ 公共下水道マンホール等の維持管理
- ・ 公共下水道取付管申請による取付管の設置

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	85,216	86,094				
決算	78,768					
人件費(A)	42,000	35,000				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	120,768	121,094				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
下水道水洗化(接続)率	%	目標	96.2	96.4	96.6	96.8	97.0	97.1
		実績	96.2					
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 公共下水道への接続促進
- ・ 公共下水道マンホール等の維持管理
- ・ 公共下水道取付管申請による取付管の設置

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

下水道水洗化(接続)率は、職員及び業務委託による訪問勧奨等の取り組みにより目標を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	21,942	14,942	1.0				
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	99,152	71,152	4.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						121,094	86,094	5.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)  
03 06 02 08 007750000 01(担当課)  
北部上下水道課(責任者)  
鈴木 正人(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日**事業シート** (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

## ◇事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)の向上を図るとともに、公共下水道施設の維持管理を行う。

## ◇事業の概要

- 水洗化促進事業
  - ・職員等による訪問勧奨の実施
- 管きよ維持管理事業
  - ・マンホール蓋等の下水道施設修繕業務

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	15,027	14,942				
	決算	14,263					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	14,263	14,942				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		7,000	7,000				
人工	正規	1.0	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

## ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.2 6.3	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

## ・事業とゴールの関連性

・水環境改善のため、下水道の接続を促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水道水洗化率(接続)率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	96.0	96.2	96.4	96.6	96.8	96.9	97.0
実績値	96.0	96.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 水洗化促進事業
  - ・職員及び業務委託による訪問勧奨の実施
- 管きよ維持管理事業
  - ・マンホール蓋等の下水道施設修繕業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

職員による訪問勧奨を1,000戸実施した。また、排水設備指定工事人を対象とした技術講習会を開催する等、適正な宅内排水設備の施工及び下水道使用に関する技術的指導を行なった。これらの取り組みにより、水洗化率は対前年比で0.2ポイント向上し目標とした96.2%を達成。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

令和2年度

(管理番号)  
03 06 02 08 007750000 02(担当課)  
北部上下水道課(責任者)  
鈴木 正人(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート

(事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

## ◇事業目的・事業対象

事業目的

公共下水道取付管の設置

事業対象

公共下水道管きよ

## ◇事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業)

施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	70,189	71,152				
	決算	64,505					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	64,505	71,152				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		35,000	28,000				
人工	正規	5.0	4.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

## ◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2 6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

## ・事業とゴールの関連性

水環境改善のため、汚水処理施設の未普及地域において、下水道整備を実施する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業)  
 施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・事業を継続する。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道  
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

## (総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

### ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

#### ◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。  
また、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事前の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行う。

#### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	261,900	285,457				
決算	229,283					
人件費(A)	58,200	52,000				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	287,483	337,457				

#### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
下水道人口普及率	%	目標	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82
		実績	81.1					
汚水衛生処理率	%	目標	90.5	92	92	93	94	94
		実績	87.1					
		目標						
		実績						

#### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。  
また、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事前の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行う。

#### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・下水道の整備では、下水道人口普及率の目標は81.2%に対し81.1%。 ・既設下水道施設の維持管理においては、4処理場の包括的民間委託による運転管理を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	199,817	178,617	2.0	2.0			
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	137,640	106,840	4.0			1.0	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						337,457	285,457	6.0	2.0		1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)  
03 06 02 09 007760000 01

(担当課)  
天竜上下水道課

(責任者)  
馬淵 勝巳

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

### ◇事業目的・事業対象

管きよ、マンホールポンプ等の施設の適正な維持管理及び、4地区の終末処理場を適正に維持管理することにより、地域の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)向上を図る。

### ◇事業の概要

- 管きよ維持管理事業
  - ・管きよ等の下水道施設を適正に維持管理する。
- 終末処理場維持管理事業
  - ・4箇所に点在する終末処理場を適正に維持管理する。
- 水洗化促進事業
  - ・職員による訪問勧奨の実施

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	179,561	178,617				
	決算	169,964					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	169,964	178,617				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		20,400	21,200				
人工	正規	2.0	2.0				
	再任用(h31)	1.0	2.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0					

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2,6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

公衆衛生の向上や公共用水域の保全のため、施設の適正な維持管理や水洗化率向上を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水道水洗化(接続)率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	96.0	96.2	96.4	96.6	96.8	96.9	97
実績値	96.0	96.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 管きよ維持管理事業
  - ・管きよ等の下水道施設を適正に維持管理する。
- 終末処理場維持管理事業
  - ・4箇所に点在する終末処理場を適正に維持管理する。
- 水洗化促進事業
  - ・職員による訪問勧奨の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・マンホールポンプ、グラインダーポンプ及び管路施設の修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ・4箇所の終末処理場運転管理及び施設修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ・職員による訪問勧奨1,024戸(内天竜管内389戸)を実施した。これらの取組みにより、水洗化率は、対前年比で0.2ポイント向上し目標とした96.2%を達成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

浄化センターの運転管理については、包括的民間委託により実施している。

経年劣化に伴う施設の修繕が必要な箇所が多く見られる。

職員による訪問勧奨を実施し、目標とした水洗化率を達成した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

維持管理する施設が増大しているため、全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析に努めていきたい。

## 事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

### ◇事業目的・事業対象

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、既設下水道施設の適正な維持管理に努める。

### ◇事業の概要

- 未普及対策事業(管きよ整備、取付管設置)
  - ・浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備の実施
- 施設改築更新事業
  - ・処理場のストックマネジメント計画に基づく改築・更新の実施
- 施設管きよ整備事業
- 施設整備事業(取付管設置、公共起債対象事業)
- 特環管きよ整備事業
- 施設整備事業(取付管設置・施設改築更新、特環起債対象事業)
- 施設改良事業

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	82,339	106,840				
	決算	59,319					
	国・県支出						
	市債	57,700	79,926				
	その他						
	一般財源	1,619	26,914				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		37,800	30,800				
人工	正規	5.0	4.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ インノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

公衆衛生の向上や公共用水域の保全のため、施設の適正な維持管理に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
下水道人口普及率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	80.6	81.2	81.3	81.4	81.5	81.7	82.0
実績値	80.9	81.1					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・市街化区域及び整備効率の高い下水道未普及地区への下水道管きよの整備
- ・処理場の長寿命化計画に基づく改築・更新の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

下水道人口普及率については、行政人口に対する下水道が利用できる人口の割合であり、81.1%となり、概ね計画通り進捗している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

下水道未普及地区の整備については、浜松市汚水処理10年プランに基づく効率的な下水道整備を実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

来年度以降、浜松市汚水処理10年プランに基づく下水道整備、ストックマネジメント対策、地震対策に関する計画策定等により更なる事業の効率化を図るとともに、社会資本整備総合交付金制度の重点配分等の積極的活用など中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。

# 政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 農業集落排水事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

### ◇政策の概要

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努める。  
4地区の処理場について、施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を行い施設維持管理費の縮減を図っていききたい。

### ◇関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生								
-------	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	206,000	169,000				
決算	203,918					
人件費(A)	21,000	21,000				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	224,918	190,000				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
農業集落排水地区数	地区	目標	4	4	4	4	4	2
		実績	4					
		目標						
		実績						

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努めた。  
令和元年度は、旧緑恵台農業集落排水処理施設の処理場本体の解体工事を実施。その他4地区については、施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を実施。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り  
令和元年度に、旧緑恵台処理場本体の解体工事を実施。令和2年度以降に施設内の整地工事を実施し、天竜区振興課に移管する。  
施設の維持管理は全ての施設において一括して包括委託を行い、効率的な維持管理と経費の抑制を図っているが、標準耐用年数を超えている設備が多くあるため、委託業者の状態監視が最重要である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	農業集落排水事業					190,000	169,000	3.0			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						190,000	169,000	3.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 農業集落排水事業

### ◇事業目的・事業対象

農業集落排水処理施設から排出される生活排水、し尿を処理することで、農村の生活環境の向上と公共用水域の水質の改善を図り、施設を適正に維持管理する。

### ◇事業の概要

- ①農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ②農業集落排水処理施設の計画的な施設整備、更新を行う。
- ③緊急時に対応するための予備費の執行。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	特別会計	自治事務(法令義務)	土地改良法、農業集落排水処理施設条例、農業集落排水事業分担金徴収条例	—	—	—

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	206,000	169,000				
	決算	203,918					
	国・県支出						
	市債						
	その他	31,382	32,244				
	一般財源	5,105	105				
一般会計繰入金		167,431	136,651				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		21,000	21,000				
人工	正規	3.0	3.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.2,6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

農村の生活環境の向上や公共用水域の保全のため、施設の適正な維持管理に努める。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
農業集落排水地区数 (地区)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5	4	4	4	4	4	2
実績値	5	4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ②旧緑恵台農業集落排水処理施設の処理場本体の解体工事。
- ③4地区の施設を計画的に改築更新。
- ④農業集落排水事業に充当した公債費の執行。
- ⑤緊急時に対応するための予備費の執行。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①点在する4処理場施設の運転管理及び、施設の修繕工事を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ②旧緑恵台農業集落排水処理施設の処理場本体の解体工事を実施。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

処理場施設の修繕工事においては、供用開始後25年を経過する施設があるため、突発的な修繕工事が発生し、計画していた改築更新工事を先送りとした。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

施設の状態を継続的に監視し、計画的に施設整備、更新を行い施設維持管理費の縮減を図っていく。最適整備構想の結果により、交付金事業を対象とした施設の改築更新事業を検討していく。